

ごみゼロ運動の実績

令和6年11月10日(日)に実施した『愛西市ごみゼロ運動』について、多くの市民の皆様にご参加していただき、誠にありがとうございました。

市民の皆様により、道路などに捨てられているごみを集めることができました。

分別していただいて、集めたごみ袋の枚数は以下のとおりです。

引き続き、愛西市の美化活動にご協力いただきますようお願いいたします。

	可燃ごみ	プラごみ	カン	ビン	不燃ごみ	計
佐屋地区	274枚	321枚	90枚	62枚	92枚	839枚
立田地区	99枚	138枚	34枚	24枚	40枚	335枚
八開地区	50枚	102枚	28枚	21枚	21枚	222枚
佐織地区	157枚	196枚	61枚	45枚	45枚	504枚
合計	580枚	757枚	213枚	152枚	198枚	1,900枚

問 環境課 ☎(55)7144

地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の策定に伴う農振農用地区域(青地)除外申出及び農地転用許可申請の手続きについて

問 産業振興課 ☎(55)7128

令和5年4月、「人・農地プラン」の法定化を核とする「農業経営基盤強化促進法」の改正法が施行されたことにより、地域農業経営基盤強化促進計画(以下、「地域計画」)の、令和6年度末(令和7年3月)までの策定が市町村に義務付けられます。

地域計画策定後(令和7年4月1日以降)、地域計画区域内の農地について農用地区域からの除外(以下、「農振除外」)や農地転用を行う場合、あらかじめ

め市町村による地域計画区域の変更(除外)手続きが必要となります。

また、地域計画区域の変更前に農振除外や農地転用の事前相談などは行えますが、地域計画の変更案の公告・縦覧、地域計画の変更告示、農振除外変更案の公告・縦覧後に、農地転用申請となりますので、農地転用手続きには時間がかかることをご理解いただき、余裕をもった申請をお願いします。

なお、事前に農振除外や農地転用許可が見込めるかをご相談ください。よろしくお願いいたします。



【冬場の入浴に気を付けて】

寒い冬は、冷えた体を温めようと熱いお風呂に入るのが楽しみである一方で、浴室での事故が増える時期です。

令和4年は、全国で5千822人の高齢者が、家および居住施設の浴槽で亡くなっています。

入浴に関連した急死の原因として「ヒートショック」が考えられています。ヒートショックとは温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動するなどによって起こる健康被害です。特に高齢者は血圧を正常に保つ機能が低下するため、寒暖差で血圧が大きく変動し、意識障害を起こして浴槽内での溺死に繋がる恐れがあります。

- ① 浴室で事故を防ぐために、次のことに気を付けましょう。
- ② 入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ③ 食後すぐの入浴や、飲酒後、服薬後の入浴は避けましょう。

- ④ 入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。
- ⑤ 温度は41度以下、湯に浸かる時間は10分までを目安にしましょう。
- ⑥ 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。



〈事故発生時の対応方法〉

万が一事故が発生した時には、可能な範囲で対応しましょう。

浴槽内で意識のない人を発見したら、浴槽の栓を抜き、大きな声で助けを呼び、浴槽から出せるようであれば救出する。浴槽内の水が抜けない場合は、浴槽の蓋に上半身を乗せるなど沈まないような対応をお願いします。そして、直ちに救急車を呼んでください。浴室での事故を防ぐために、予防方法や対処法を正しく理解しておきましょう。

問 消防本部予防課 ☎(26)1109

インスタグラムはじめました! 皆さんのフォローをお願いします。

